



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
平成30年度学校だよりN o 2
平成30年4月9日
文貴 校長 吉尾直樹

新しい風をこの大島中学校に吹かせよう
4月9日 第13回大島中学校入学式

4月9日に久保川大島支所長様をはじめ多くの皆様にご臨席いただき、第13回平戸市立大島中学校入学式を行いました。元気な1年生10名は、担任の呼名にしっかりと返事し、中学校生活に対する意欲と強い決意を感じました。きっと大島中学校に新しい風を吹かせてくれるものと思います。



校長から次のことを1年生のみなさんに伝えました。

「今、新入生のみなさんはどんな思いで今日を迎えましたか。中学校生活での夢や希望がはっきりして、期待に胸を膨らませている人もいるでしょう。周りの人たちも変わらないし、先輩たちも小学校の時に知っているし、あまり特別な思いはないなあと思っている人もいるかもしれません。この他にも、さまざまな思いをもって、この場に座っているのだと思います。

私がみなさんに伝えたいことの第一は、どのような思いの人も「大島中学校は歓迎する」ということです。期待に胸を膨らませている人には、夢や希望の実現のために、少人数であることのよさを生かし、一人ひとりをしっかりと伸ばします。勉強や中学校生活に不安を感じている人には、全ての先生で、その不安が消えるまで丁寧に相談し取り組みます。この他のどんな思いもしっかり受け止める大島中でありたいと思います。

二つ目は、明るく元気にあいさつをしてほしいということです。元気のよいあいさつは、自分はもちろん、相手もその周りの人も明るくします。学校でも家庭でも地域でも、みなさんの元気な声でたくさんの笑顔を広げましょう。

三つ目は、自分でできることは自分でする人になってほしいということです。今朝は中学校生活の第一日目でしたが、自分で起きることはできましたか。これからの三年間は、自分でできることを増やし、自立した力をつける大切な時期なのです。勉強も部活動も学校行事も、自分から取り組んでこそ価値があります。楽をしたいと思う気持ちは誰にでもあります。でも、それを乗り越えた先には必ず最高の日があります。仲間とともに前に進みましょう。

私たち教職員一同、新入生の健やかな成長を願い、保護者・地域の皆様と同じ方向を見て、精一杯取り組みます。」

来賓祝辞では、川久保PTA会長様から、新入生への励ましの言葉をいただきました。

「歓迎のことば」を述べた川久保羅夢さんは、1年前の自分の姿を思い浮かべながら学習や学校生活、学校行事について説明し、目標を持つことと夢中になることの大切さを新入生に伝えました。

また、新入生代表として「誓いのことば」を述べた岡村涼太くんは、部活動や学習への期待と決意を述べ、「あきらめずにがんばる」と誓いました。

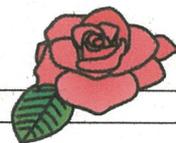
保護者の皆様、入学式でのお子様の姿はいかがだったでしょうか。緊張感の中にもしっかりと行動をしようとする、どの生徒もすばらしい態度だったと思います。新入生10名を含めた27名のこれからの年間が楽しみです。



平成30年度の職員は次のとおりです。

校長 吉尾直樹 教頭 山田崇暁(数) 教務主任 村井能子(保体家)
1年担任 山口勝也(音技)・上野稚加(国)・大川桂子(国)
2年担任 松本栄子(社)・村野涉(美) 3年担任 窪田貴美(英)・横田亮(理)
養護教諭 宮村貴子 事務 水口裕貴 用務員 小山浩美

一人ひとりにしっかりと向き合っていきます。よろしくお願いします。



「その日、その日が『一年で最高の一日である』と心に刻め。」

ラルフ・ワルド・エマーソン (思想家/アメリカ)

節目となる日を意識することは大切。また、その日その日を充実した一日として生き抜き、積み重ねていくことも大事なのです。毎日があなたにとって「最高の一日」となるように。